

大工道具の歴史を展示する大工道具博物館
昨秋新神戸駅横にオープンした
「竹中大工道具館」





竹中大工道具館
TAKEUCHI TAIKAN MUSEUM



大工道具の歴史を展示する大工道具博物館 昨秋 新神戸駅横にオープンした 「竹中大工道具館」



神戸市中山手にあった日本で唯一の大工道具の専門博物館「竹中大工道具館」。施設の老朽化や展示・収蔵スペースの不足等を解消するため、昨年10月、新神戸駅のすぐ南東 六甲・布引の緑豊かな地に新神戸駅前の緑豊かな地に移転オープンした。

これまで展示しきれなかった収集品 3万点余りの中から、選りすぐった約1千点の大工道具を中心に、大工道具の歴史と匠の技を展示する大工道具博物館。吹き抜け空間には、高さ7メートルを超える原寸大の唐招提寺金堂の柱と組物など現代の匠たちの手による最高の職人技を詰め込んだ特別な模型も展示され、大工道具を駆使した匠の技がそっくりそのまま見られる。

また、縄文から現代まで 木材加工の大工道具とそれを使った匠の数々の木材加工の技が実寸展示されるとともに、モニターには実際の加工映像が目の前のモニターに映し出され、実に面しろい。

縄文の巨木が石斧で切り倒される技 それが板や柱に切り分けられる技に継ぎ手・木組み加工 そして鉋で削られた透き通るほど薄いカンナくずや鋸も面白い。

ふっと 鑿や鉋の素材はたたら製鉄の玉鋼と地鉄の組み合わせが可能にしても あの薄い鋸歯は無理か?と思いましたが、やっぱり玉鋼と地鉄の古来の鍛冶技術。現在はほぼ「安来鋼」に置き換わっていると。これも伝統の製鉄技術である。また、六甲連山の緑をバックにした広い日本庭園の中に調和して、竹中の現代技術の粋を集めた日本風建築の展示館が建っている。木の香りが漂う落ち着いた空間の中で ゆっくりと展示を楽しめるのもうれしい。

和風の門をくぐり、展示館1階の広い空間の椅子に座って ゆっくり周囲を眺めているだけでも楽しい。

大きくはないが、我々にはうれしいお勧めの大工道具博物館である。

展示品と来館者の距離を縮める 解説システム

□ 見たままナビ

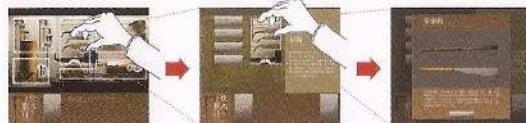
「見たままナビ」とは、より詳しく知りたい資料の情報が一目でわかるタッチパネル式の解説ツールです。展示レイアウトをそのまま画面で再現していますので、知りたい資料をタッチするだけで映像や写真の入った解説画面が現れます。2F・3Fの重要ポイントに設置されています。



・見たままナビ第1画面
ご覧になりたい資料のグループをタッチ。

・第2画面
例題の名称が現れます。
ご覧になりたい資料をタッチ。
「前に戻る」ボタンを押すと第1画面に戻ります。

・第3画面
資料に関する解説や映像がご覧になります。
「戻る」ボタンを押すと第2画面に戻ります。

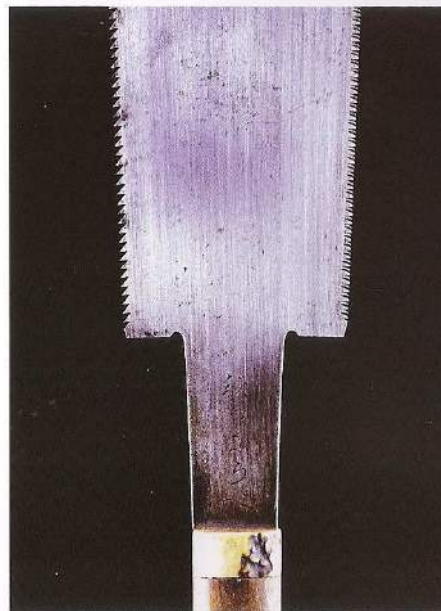


□ ビデオライブラリー

大工道具を伝えていくにはモノの保存だけではなく、使い方や作り方もあわせて残すことが大切です。当館ではこれら無形の技を映像として記録し、50作品以上を館内で公開しています。各階展示の他に、団体利用者にはB1F多目的ルームにて、個人利用者はB1Fライブラリーにてご希望の映像をご覧になることができます。



映像作品「船の歴史」



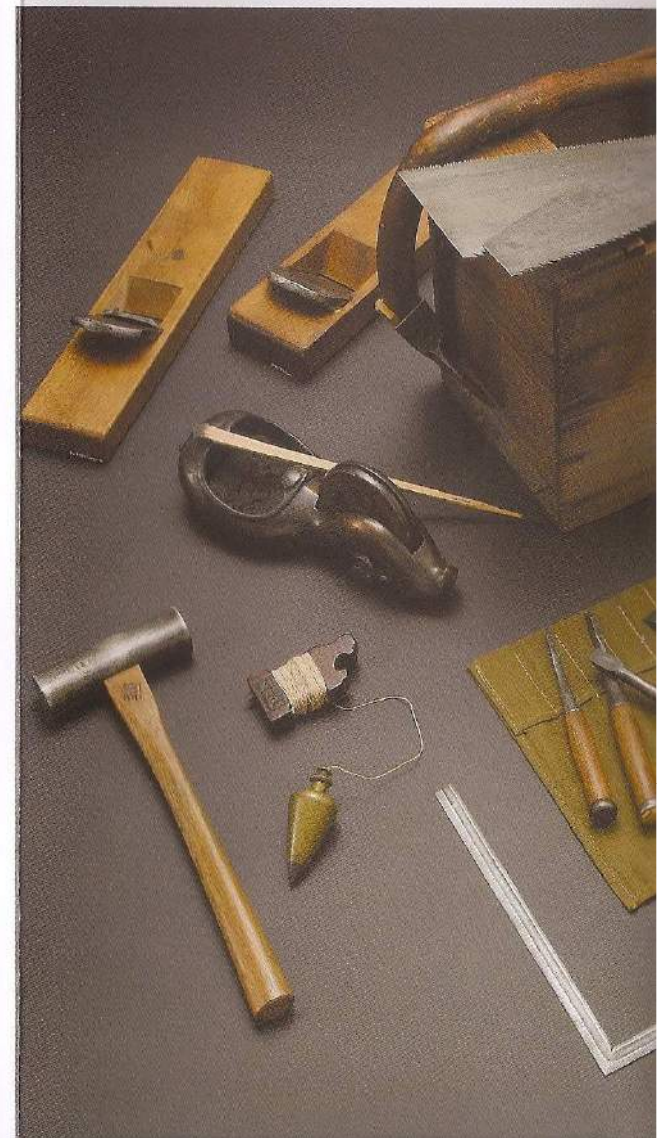
八寸両刃鋸 播磨三木 二代目 沼野鉄之助 昭和25年



寸六大人鑿 大板 三代目 善作 昭和初期

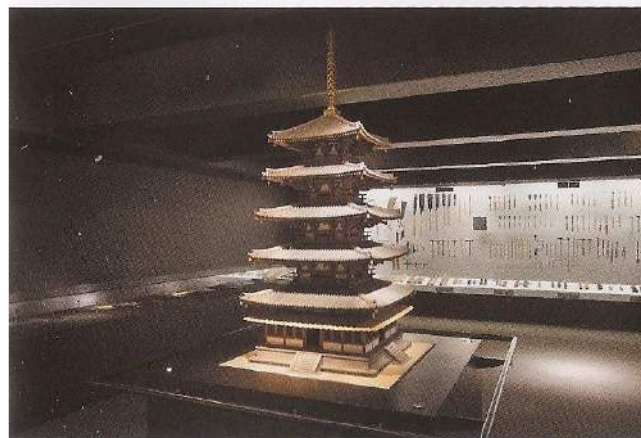
財団法人 竹中大工道具館 TAKENAKA CARPENTRY TOOLS MUSEUM

展示概要 | OUTLINE OF THE EXHIBITION



1F 極める

「用を極め、美に至る」
機能を超えて、輝きを放つ道具たち。



当館のシンボルである法隆寺五重塔。その後には最盛期の大工道具179点と名工品を展示。

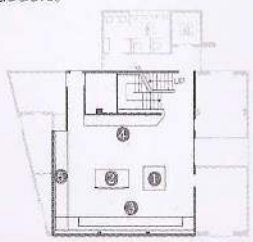
大工は、職人気質といわれるように、仕事の質にかかわる道具については並々ならぬこだわりをもってきました。鍛冶も大工の心意気に応じようと、心を込めて優れた道具をつくり出してきました。

このフロアでは職人たちが自らの道を極めて生み出した数々の道具を紹介します。

中央には当館のシンボルとして宮大工が自己研鑽のために構造もそのままに作り上げた法隆寺五重塔模型を設置。両脇の展示台では名工が鍛え上げた美しい輝きを放つ道具が間近にご覧になれます。正面奥では最盛期の大工道具一式179点をすべて揃えた壁面展示を用意しました。



地方「津島」千代鶴見秀



- ① 法隆寺五重塔 ② 青柳の無垢板 ③ 名工が鍛えた道具
- ④ 企画展示コーナー ⑤ 大工道具の標準編成



江戸前・江戸 千代鶴見秀

2F 造る

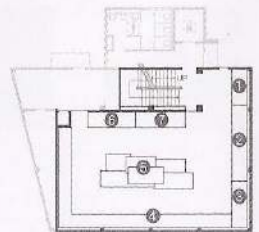
木で建築を造る大工の技。鉄で道具を作る鍛冶の技。



「木を組む」と「手仕事と道具」の展示。道具の使い方が図型と見たままなどで理解できます。

「木の建築はどのように造られているのか」がテーマです。山から木を伐りだして材木に製材する職人が使う大型の道具を手始めに、大工が部材の加工から仕上げに至るまでに使う一連の道具を詳しく解説しています。各コーナーでは道具の使い方と作り方が模型や映像で直感的に理解できます。

中央の展示台にはさまざまな本組みや仕上げの見本を展示しました。後半には大工と鍛冶の実際の作業風景が分かりやすくイメージできる仕事場再現コーナーを用意しました。



- ① 日本の樹 ② 伐木と製材 ③ 設計と用材
- ④ 手仕事と道具 ⑤ 木を組む
- ⑥ 鍛冶の仕事場 ⑦ 大工の仕事場



伐木と製材の道具



鍛冶の仕事場

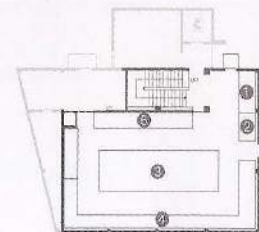
3F 伝える

道具の歴史を振り返る。世界の道具と見比べる。



「道具の歴史」コーナー。中央では大型模型と見たままなどで重要ポイントが理解できます。

「道具はどのように伝えられてきたのか」をテーマに、日本における道具の発達史をトピックごとに振り返ります。日本建築史を背景に、時代を代表する建築と、それを造るために使われた道具の復元品や実物を対比的に紹介しています。また中央には歴史のターニングポイント(転換点)を直感的に理解できる迫力の大型模型を設置しました。後半は視野を海外に広げ、アジアやヨーロッパの道具と比べながら形や使い方などの共通点や違いがあるのかを、世界でも有数のコレクションを使って解説します。



- ① ガイダンス映像 ② 建築工人の世界
- ③ 歴史の転換点 ④ 道具の歴史
- ⑤ 海外の道具



中国の道具



ヨーロッパの道具









7つのコーナーに分かれた展示を通して大工道具の魅力をお伝えします。大工道具の歴史や種類、しくみを紹介する「歴史の旅へ」「道具と手仕事」「世界を巡る」、道具や手仕事の美を感じていただく「名工の輝き」「和の伝統美」。ものづくりの心を棟梁の仕事を通して伝える「棟梁に学ぶ」。貴重な森の恵みを生かす伝統の知恵の数々を見ていただく「木を生かす」。選りすぐりの資料約1,000点や、現代の匠の職人技が詰め込まれた迫力の実物大模型、五感に響くハンズオン展示で、道具を身近なものとして楽しく理解していただけます。

日本の道具は おもしろい。

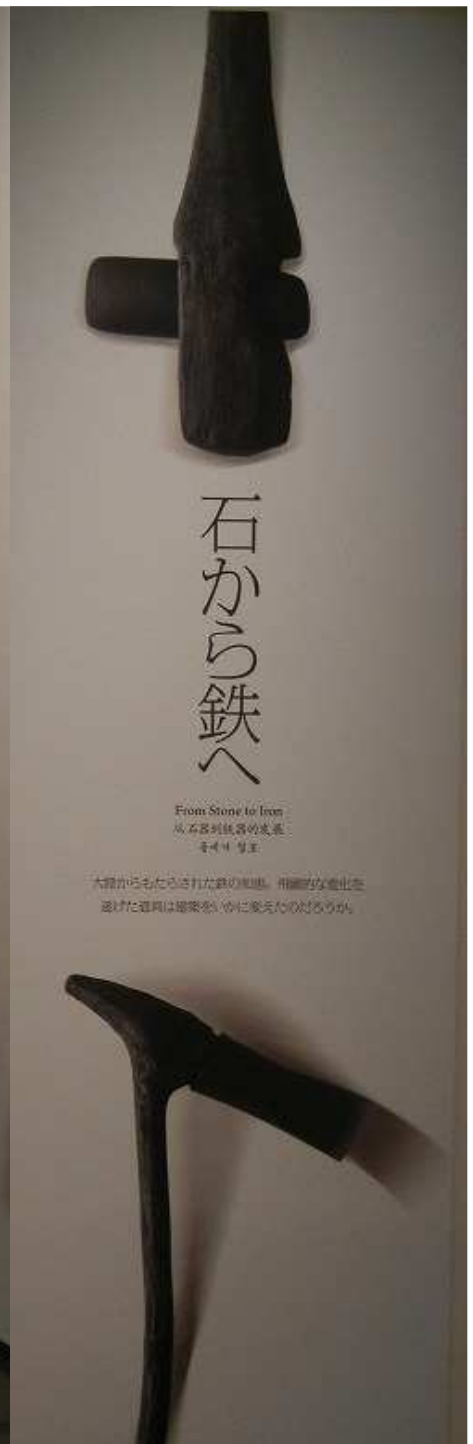
知っていましたか？

この曲尺 表1に対して裏は1.414倍($\sqrt{2}$)の目盛。この曲尺の表裏の目盛を使って、正確に丸太断面から切り出せる角材の寸法が簡単に割り出せる。また、屋根の勾配なども簡単に割り出せるという。





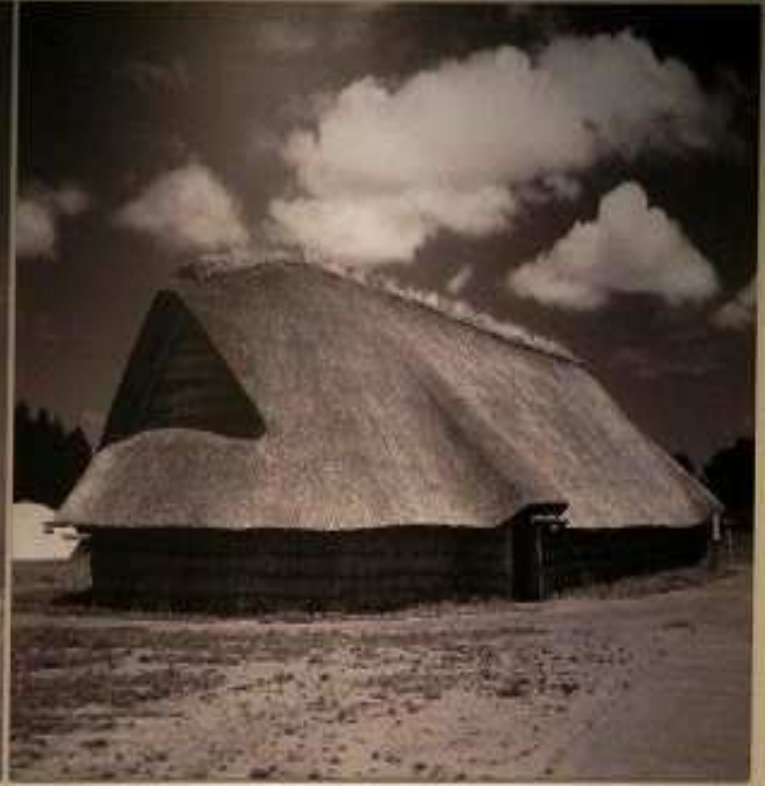
石で大木を切り、丸太を割る
すでに縄文時代にそんな技術があった



石から鉄へ

From Stone to Iron
从石器铁器的演变
黄浦区 展览

大體から毛たられれた鉄の産地。用圖的な進化を
選けた道具は建築をいかに象えたりだろうか。



鉄器の登場

約 3000-2000 年頃

この時期、鉄の加工技術が飛躍的に進歩し、農具や武器として広く利用されるようになった。特に、鉄製の鋤や鍬は、農業生産に大きな貢献をした。また、鉄製の刀剣は、武士の象徴として後世に受け継がれた。

石斧の時代

約 30000-10000 年頃

この時期、石の加工技術が飛躍的に進歩し、農具や武器として広く利用されるようになった。特に、石製の斧や鍬は、農業生産に大きな貢献をした。また、石製の刀剣は、武士の象徴として後世に受け継がれた。



実証 石斧で大木が切れる



くさびで丸太が真っ二つ
きれいに割れる!!









鋸がない時代 板を作るのは大変!!



唐招提寺金堂の柱と組物





規矩術を修める：
二軒隅組模型

木を刻む：加工途中の唐招提寺金堂部材



ドイツ 壁模型 (縮尺 2/3)

Model of Wall Construction in German (Scale 2/3)

ヨーロッパの代表的な木骨造建築である
エスリンゲン市庁舎(1430年建立)。
柱組と横割に桁梁を組み合わせた軸組を模倣し、
特徴的な意匠をつくり出している。





木を生かす







樹から材へ:伐木製材道具

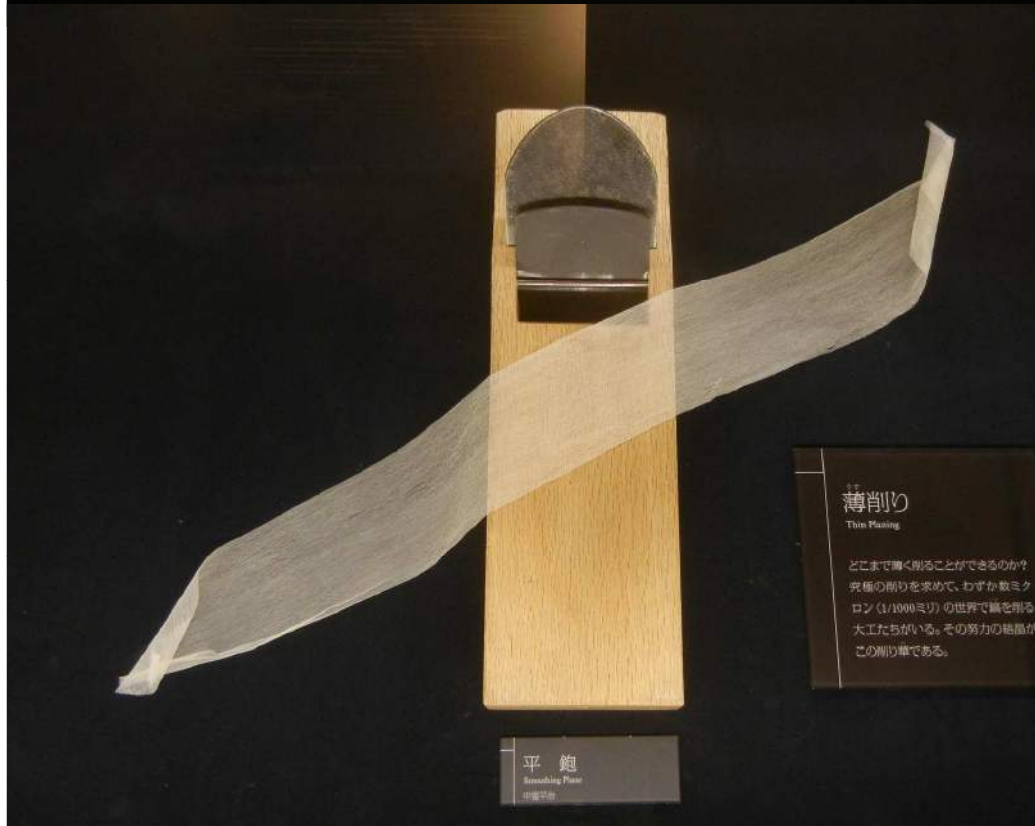




匏



大 鯉



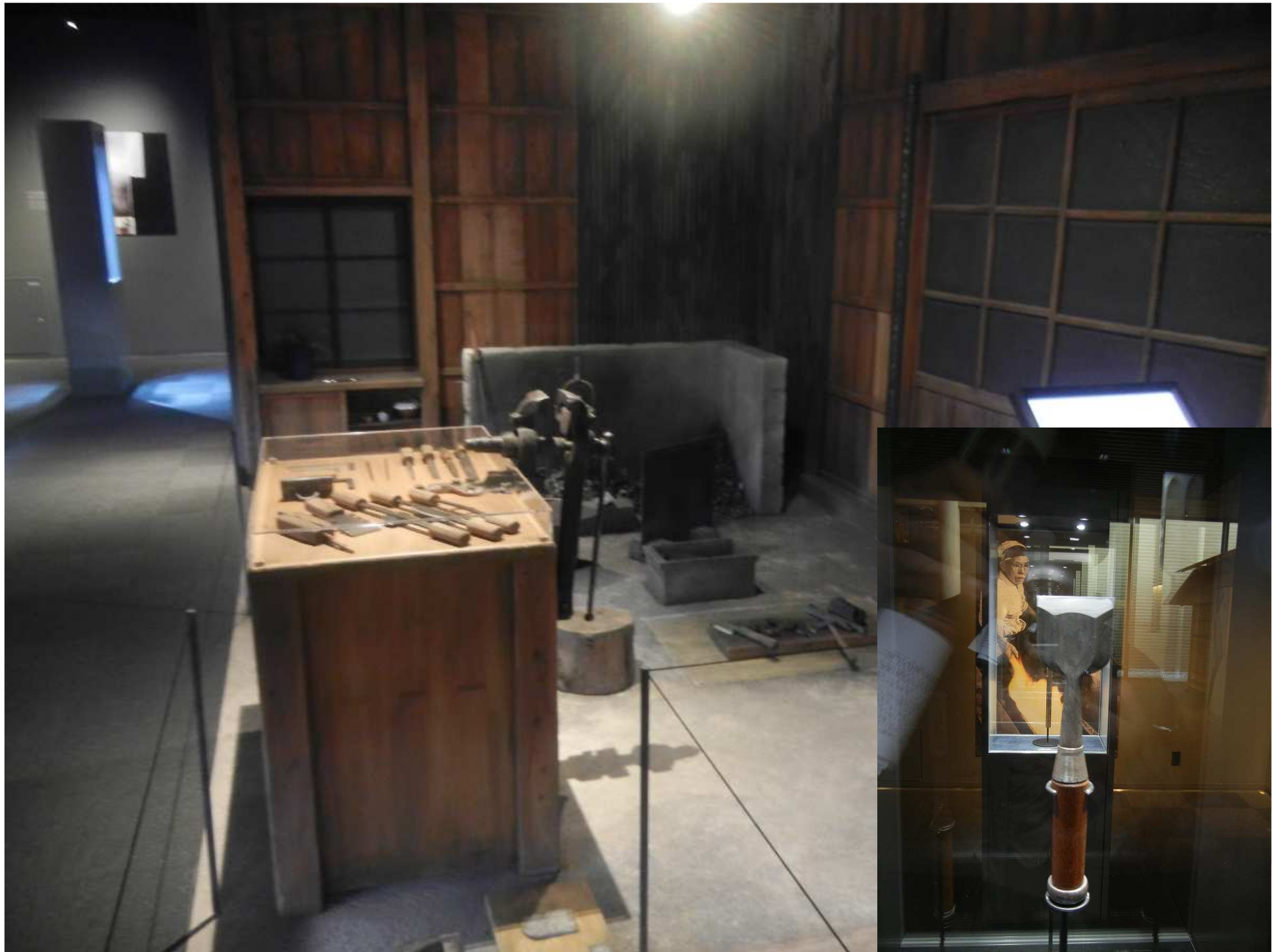
薄削り
Thin Flaking

どこまで薄く削ることができるのか？
究極の削りを求めて、わずかな数ミクロン（1/1000ミリ）の世界で職を削る
大工たちがいる。その努力の結晶が
この削り棒である。

平 鉋

Smoothing Plane
中嶋平助



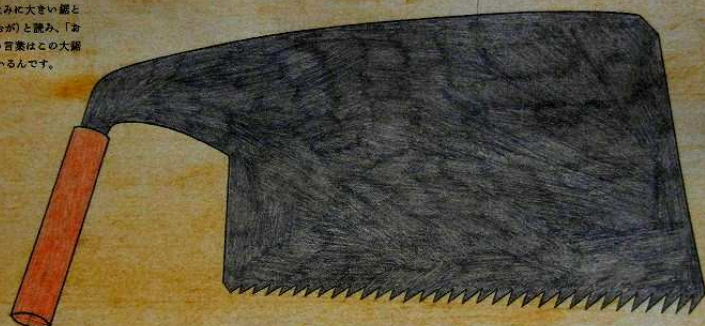




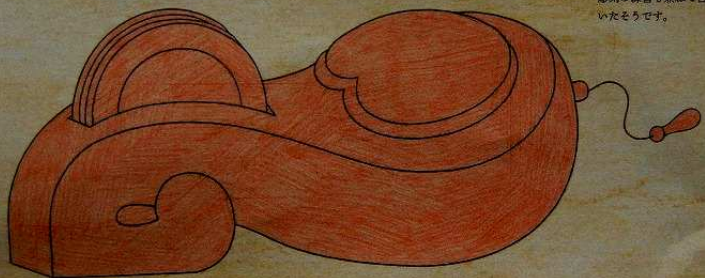




【鋸(のこぎり)】木を切断して
製材する道具。日本の鋸は「引
いて」、海外の鋸は「押して」
使います。ちなみに大きい鋸を
書いて大鋸(おが)と読み、「お
がくず」という言葉はこの大鋸
の屑からきているんです。



【墨壺(すみつぼ)】長い
正統に引く道具。日本の
中で唯一、彫刻が施され
心のある道具です。大王
雨で仕事がお休みの日
彫刻の練習も兼ねて自ら
いたそうです。



EXHIBITION



『日中誌 徳島力社と心』 藤 神戸会場の様子

竹中大工道具館開設30周年記念巡回展

日中韓
棟梁の技と

東京・神戸で好評いただいた西邸展、最後の地盤
では、日中韓の各国を代表する三人の建築家が手がけた、
型や大工道具、設計図などが一堂に会し、それぞれの「築の
ろ」を際立たせます。あわせて講演・実演イベントも開催いたします。
各国の建築の技が集う貴重な機会ですので、ぜひご来場ください。

名古屋会場

2015年1月17日(土)~3月1日(日)

トヨタ産業技術記念館 特別展示室

名古屋市区列武新町4-1-35 TEL: 052-551-6115
名称 名古屋本社「栄生研」下庫、徒歩3分

開催時間 9:30～17:00 (入場は16:30まで)

休 暇 日 月曜日（祝日の場合は翌日）

人 填 料 無 料 (常 規 磨 土 制 造 人 填 料 均 必 要)

12月イベント

鳴謝

の建築技術と墨匠—中国・韓国との比較から—

内介 [東京大学教授]

25日(日) 13:30-15:00

● 全米平均

(3) 不問

10

1900

17

801

100

定價

[Faint handwritten notes at the bottom of the page]

著は「日中語 増補版」

10. 宝武特钢 1000 / 1000

4-28 中國經濟學 / 第二版

其後，「九龍全屬香港」

公債 公債時限及人的中央工部局經 水庫

駐台神農大傳習 編譯文化院

7つのコーナーに分かれた展示を
選んで大工道具の魅力をお伝えし
ます。大工道具の歴史や種類
に関する紹介する「歴史と発展」
「道具と手仕事」(世界を巡る)
、最も手仕事的美を感じていただ
く「名工の輝き」(国の伝統美)
、ものづくりの心を体験する仕事
を通して伝える「経験に学ぶ」、食
料安全の想いを生かす「木を食す
の文化」を見ていただく「木を食す
の文化」。

満ち足りた日の資料約1,000
点や、現代の匠の職人技が詰め
込まれた迫力の実物大模型、五
感に響くエンバウション展示で、道
具を身近なものとして楽しく理
解していただけます。

日本の道具は
おもしろい。



「図のとおり」木を切倒して
製材する道具。白水の図は「引
いて」。部各の図は「押して」
使います。しかも大きい図を
書いて丸鋸「わがし」と読み、「わ
がくず」という言葉はこの丸鋸
の図から来ているんです。



大工道具の歴史を展示する大工道具博物館
昨秋新神戸駅横にオープンした
「竹中大工道具館」



お勧めの心地よい博物館です by Mutsu Nakanishi